

# 工芸の五月

美と暮らしを結ぶ



3

Matsumoto Crafts Month 2012  
Official Guide Book [全会場マップ付]

2012年4月29日[日祝]→5月31日[木]



つくる。  
いきる。  
たのしむ。



**iichi**  
*Handmade in Japan*



[www.iichi.com](http://www.iichi.com)

iichi (いいち) は日本の作り手による手仕事品を日本国内と海外に  
紹介・販売することができるマーケットプレイス“市”です。



#### 表紙の写真

手書き豆本「時にふれて」

松本の民芸運動は芹沢銈介に学んだ型染めの三代澤本寿、地元で実業を営む丸山太郎、池上喜作らによって始まった。

この豆本は、その後松本民芸館を創設した丸山太郎が愛蔵品ひとつひとつを手描きのイラストに残し直筆の解説をつけた私家本である。あとがきには「この拙い豆本は民芸子を良く理解し生活とし、且つ私の親愛なる友に贈りたい」とある。丸山の、ものに対する温かな眼差しが伝わってくる。  
文・写真 三谷龍二

#### もくじ

町の記憶	2
はぐくむ工芸	6
村上富朗が遺した椅子	8
ほろ酔い工芸	10
徘徊珈琲	11
移動あんざい展	12
旅行社みずのさんぽ	13
まつこの看板をめぐる旅	14
松本民芸館五十周年	16
工芸の五月	
展覧会案内	17
ギャラリー案内	19
全スケジュール	25
マップ	26



# 町の記憶

—消えたもの、残ったもの、かたちを変えて生き続けるもの

文 山口敦子  
写真 林宰男(P2・4) モモセヒロコ 倉澤聡  
協力 かわかみ建築設計室 米山文香

町の持つ雰囲気を決める要素の一つに、建物があります。松本でいえば、国宝松本城。暮らす人も、訪れる人も真っ先に思い浮かべる松本の町の象徴です。

しかし、町をかたちづくる建物は歴史的建造物だけではありません。街角にある何の変哲もない古びた建物。錆びた扉や気泡の入ったガラス窓、雨がにじんで不思議な模様になった外壁；そこに人がいて、もしかしたら人ではない何かもいて、長い時間と記憶が染み込んでいる場所。町の風景を創っているのはそんな数々の建物です。

松本の町を歩けば、気になる建物がある。こちらに見つかります。長い時間、そこであって町の個性を担っている場所。建物の歴史に心を沿わせ、過去をさかのぼると、その後「ここでこんなことをしたい」「こんなふうに使ってみよう」という妄想が膨らんでいきます。

工芸の五月ではそんな建物と工芸を結



2.



3.



4.



5.



6.



7.



1.

【なくなったもの】

1. いちやま旅館[中央2]。1996（平成8）年に取り壊された。木造3階建て。本館は1907（明治40）年築。大正時代に東館、昭和に入り西館が建てられた。
2. 駅前再開発により消えた伊勢町の路地。
3. 丸山邸[旧ヘニガー邸・県]。1921（大正10）年、ヴォーリスの設計。松本市で最初の水洗便所があり、ほとんどの部屋に暖炉があった。
4. 霞山荘[入山辺]。片倉製糸紡績（後の片倉工業）が建てた鉱泉旅館を、今井五介が昭和初期に別荘兼保養所にしたもの。皇族の宿泊施設にも利用されていた。2004（平成16）年に取り壊された。
5. 山崎病院[蟻ヶ崎]。大正末期の擬洋風建築。車寄せ付き、モルタル洗い出しの擬石調の仕上げ。
6. テアトル銀映[城東]。1950（昭和25）年頃開業。シネコンの台頭と老朽化により2008（平成20）年閉館。
7. セントラル座[大手]。昭和初期に開業。地階付き木造4階建てで、宝塚公演を行ったことも。2004（平成16）年解体、跡地はセントラルビオスになっている。

び、新しい発見ができるのではと模索してきました。2009年から会場の一つになっている「池上邸」はまさにそんな場所でした。以前は菓草の倉庫に使われていたという蔵と、その蔵が建つ庭。家主の池上さんに交渉し、スタッフ総出で大掃除を行い、展示やカフェなどのイベントを毎年展開しています。

町を歩くと、いつの間にか消えてしまった建物が多いことにも気付きます。正確に言うとそのときは気付かず、誰かに言われたり、あとで写真を見たりして思い出すことも。「テアトル銀映」「セントラル座」といった映画館、伊勢町の土蔵に囲まれた路地、名前はわからないけれど「古い洋館」「広い庭の家」と呼んでいた建物…それは哀愁という感傷的なものではなく、町の歴史が消えていくのと同じように思えます。

カタクラモールの西側に「カフラス」という看板を掲げた古い建物があります。この前に立ったときも、建物内部でのインスタレーションや裏庭をステージにしたファッションショー…とどんどん妄想が広がりました。

カフラスは1929（昭和4）年、「松



中町通りには、なまこ壁の土蔵が多く残る。1990年代ごろから、蔵の保存・活用を進め、飲食店やギャラリー、資料館などに使われている。

本製糸工場」を改装した際に建てられ  
ました。松本製糸工場の創立は1890  
(明治23)年。片倉組(現在の片倉工業)  
初代・片倉兼太郎かねたろうの実弟、今井五介が所  
長を務めました。五介は品質の良い繭の  
安定供給に励み、屈指の製糸工場にし  
ていきます。当時、工場から西へ続く中町  
は問屋街として栄え、電気やガス、そし  
て製糸に関係するさまざまな商売で繁盛  
していたといえます。

片倉工業が松本の発展に与えた影響  
は製糸という一事業にとどまりません。  
1911(明治44)年には経営難から  
廃校寸前だった「松本戊戌商業学校」を  
私立「松本商業学校」(現在の松商学園)  
として立て直しました。1916(大正  
5)年には信濃鉄道(現在のJR大糸線)  
松本―大町間を開通。ほかにも日本銀行  
松本支店や旧制松本高等学校といった国  
家機関の誘致などにも尽力しました。こ  
れらの中心となり、さらに片倉財閥にま  
で育て上げた五介は、地域の発展がはず  
れは企業の発展にもつながる、企業の利  
益だけではなく地域に還元したいと考え  
ていたといえます。片倉工業は単なる一  
企業ではなく、教育、金融、交通など町  
に住む人たちの生活に深く関わり、松本  
の近代化を支えてきたのです。

製糸業は戦後、衰退の一途をたどりま



1.



2.

【現存するもの】

1. カフラス [中央4]。鉄筋コンクリート3階建て。外壁に使われているレンガ風のスクラッチタイルは引っかけ傷のような文様が刻まれ、窓枠の上下だけ違う組み方をされている凝ったデザイン。
2. 生物科学研究所 [中央4]。1936(昭和11)年築、木造2階建て。何度も改修されながら使われ続けてきたためか、古いだけでなく、どこか生活感がある。
3. 宮島耳鼻咽喉科医院 [城東2]。大正初期頃の建築とされる。屋根中央の望楼や塔型の飾り屋敷など西洋風の造り。
4. 山崎歯科医院 [丸の内2]。1888(明治21)年築。県内初のレンガ造りの西洋館で、壁面には暖炉の煙突の痕跡も。2011(平成23)年6月の震度5強を観測した地震で損傷したが、市民有志が保存のために活動を行っている。
5. 松本市下町会館 [大手4]。昭和初期に建てられた旧青柳化粧品店の正面部分を移築復元。まちづくり拠点施設として利用されている。
6. かわかみ建築設計室 [大手5]。大正ロマンを感じさせる旧松岡医院を再生。
7. 横山邸 [県3]。昭和初期に建てられた中2階のある木造3階建て。個人住宅として使われている。



3.



4.



5.



6.



7.

「場所を持つ歴史に新たな時の流れを重ねたい」  
塗り替えるのではなく、付け加えていきたい。途切れさせるのではなく、この先もこの町で一緒に生き続けたい。この町を歩いたときに、その思いはさらに強くなっていくのです。

旧制松本高等学校は戦後の学制改革で信州大学文理学部に移行し、大学が現在の場所へ移った後、校舎は取り壊されることになりました。しかし保存運動が起こり、今は「あがたの森文化会館」として市民に愛されています。

建物は、いつかは朽ちてしまいます。でも、残っているものもあります。あるものは保存され、修繕され、そしてあるものは使い方を変えて。

建物には、1965(昭和40)年には松本工場の製糸部門が休止。次々と取り壊された建物の跡地には勤労者福祉センターやホテルサンルートなどが造られ、建物がなくなるにつれて松本の歴史の一面面を担った面影は徐々に薄くなっていきました。残っているのはカフラスと生物科学研究所だけとなり、これらの建物も現在、ショッピングセンター再開発のために取り壊される予定だといわれています。



# はぐくむ工芸

子どもたちへつなげたいもの

子どものための工芸は、親が子どものために心を配り手を動かすことの延長にあるように思います。子どもたちにとって、手仕事によるものづくりに触れるきっかけともなります。

「はぐくむ工芸」は、子どもたちの感性を育むと同時にものづくりという文化を育てていきます。

文 塚田結子 写真 モモセヒロコ

松本市では、生後間もない赤ちゃんに手作りの木のスプーンを「ファーストスプーン」として贈る子育て支援事業が行われています。木工に携わる7人の地元作家が、長野県産の天然木から1本ずつ削り出すスプーンは、ひとつとして同じものはありません。「作り手それぞれの思い入れがあるんです」と語るのは、松本市深志で漆器店を営む碓屋公章さん。碓屋さんは、そもそもこの企画を提案した人でもあります。

「大量生産で安く出回っているものは、どれも同じ顔をしている。いろんなものがあつた方がいいんです。多様化してこそその文化でしょう。そして、たくさんあ



「ファーストスプーン」とは、一生食べ物に困らないようにとの願いを込めて、生まれた子どもにスプーンを贈るヨーロッパの慣習です。生まれて初めて使う道具を長く使い続けられるようにと、手入れ用の蜜蝋がセットになっています。蜜蝋は、松本の野山でミツバチが集めたもの。もちろん口に入っても害はありません。

ファーストスプーン制作作家  
谷口泉、指田哲生、日高英夫、矢倉保男、酒井隆司、羽柴弦、柳澤哲夫



「美しい絵本語り」

5月3日(木祝)10:30～11:00  
小さな木の椅子に座って、初めての美術館体験。美術館では年間を通して「美しい絵本語り」を行っています。親子でご参加ください。

語り/松本おはなしの会  
対象/2歳以上  
場所/松本市美術館講座室  
定員/10組(要予約)  
料金/無料

「ワークショップ」

◎木の車作り

5月3日(木祝)13:30～15:30  
ラジコンカーのように前輪が向きを変えられる木の車を作りカーレースをしよう!

◎ノッティング ちいさなラグ織り

5月4日(金祝)13:00～17:00  
ノッティング(結び織り)のちいさなラグを作りましょう。木綿の経糸にウールの束を結んで、織り上げます。詳細はp.24をご覧ください。

問い合わせ・申し込み  
松本市美術館 ☎0263-39-7400  
予約開始4月5日(木)9:00～



はぐくむ工芸

5月2日(水)～6日(日)  
10:00～17:00 入場無料  
松本市美術館 1階子供創作館  
「そらまめギャラリー」+中庭  
松本市中央4-2-22

るなかから自分に合ったものを見つけ、それが大事。子どもの頃からもの見方を身につけて、真贋のわかる人間になってほしい。碓屋さんのそんな言葉は、私たち「工芸の五月」が企画した「はぐくむ工芸」に込めた思いと一緒にです。

「はぐくむ工芸」では、松本市美術館で行う「そらまめギャラリー」を会場に、さまざまなジャンルの作り手たちが子どものために作った、さまざまな道具やおもちゃをご紹介します。また美術館の中庭には、子どものための小さな椅子がずらりと並びます。丹誠込めた手仕事は、手に優しく目に楽しく、発育を助け、感性を育みます。そして心眼を持った使い手もしくは作り手を育て、ものづくりという文化を育みます。工芸を通して、心豊かな暮らしを子どもたちへつなげていきたいと願ってやみません。



はぐくむ工芸 出展作家

- |      |  |  |
|------|--|--|
| 陶器   | 金井三和<br>内川千代美  |  |
| フェルト | ZÜS<br>百瀬陽子  |  |
| 布もの  | 登本貴夫   |  |
| 楽器   | 村上史子   |  |
| フェルト | ・木工他   |  |
| 皮革   | 黒澤洋行   |  |
| 織り   | 松島しづ   |  |
| 金属   | 平島鉄也   |  |
| 椅子   | 太田 健<br>片岡清英<br>木村 毅<br>小山利明<br>指田哲生<br>園田勝幸<br>寺下健太<br>羽柴 完<br>日高英夫<br>牧瀬昌弘<br>山形英三<br>飯島豊文 | 小田時男<br>金澤知之<br>小林一夫<br>酒井隆司<br>すがのたかね<br>谷口 泉<br>豊福重徳<br>羽柴 弦<br>藤牧敬三<br>増山 博<br>松本勝行<br>矢倉豊男 |



## 村上富朗が遺した椅子

長野県御代田町の工房で、木の椅子を作り続け、昨年夏に急逝した村上富朗。さまざまな暮らしの中で大切に使い続けられている椅子たちの中から、それぞれの持ち主のご厚意により代表作を集めて、その仕事を回顧します。

文 谷進一郎 写真 瀬戸山玄

村上富朗は1975年にアメリカでウインザーチェアに出会ってから、ほとんど独学で試作を重ね、83年の個展では完成度の高いさまざまなウインザーチェアを並べて「ウインザーチェアの名手」と評価されました。18世紀アメリカのウインザーチェアは、建国の気運を象徴するように、イギリスのそれに比べて素朴でおおらかな造形を特長とします。中には座板や曲げ木、脚等の部材に異なる材種を使い、緑や青のペンキで彩色したものもありましたが、村上は強度と美しさを求めて可能な限り同じ材を使い、木肌や木目を活かすオイルや漆で仕上げました。そうするとごまかしが利かず、材料を吟味して、丁寧に仕上げなければなりませんでしたが、村上は持ち前の技術とスピードで、働き盛りには一脚を5日ほどで仕上げたのです。

同じウインザーチェアでも機械で量産されたものは武骨で平板な印象になりますが、村上はオリジナルのさまざまなタイプの中から美しいバランス



村上富朗 木の椅子展  
4月29日(日祝)～5月2日(水)  
10:00～17:00 入場無料  
期間中、生涯最後の1脚を制作する全行程  
を記録した貴重なドキュメンタリー映像  
「村上富朗のサックバックチェア」を上映。

まつもと市民芸術館2階シアターパーク  
松本市深志3-10-1



むらかみ・とみお (1949-2011)  
代々、木工を営んできた家に生まれ、中学卒業と同時に家業を手伝う。20代で渡米して、ニューヨークで家具を作り、シェーカーやウィンザーチェアを学んで帰国する。1980年「シェーカー家具展」、1983年「ウィンザーチェア展」などの個展で発表した後、オリジナルチェアも作り、亡くなるまでに100種類の椅子を世に出す。

のものを見出し、厚い座板と細い背柱でメリハリをつけ、手作業を駆使することで丈夫で軽い椅子を作り上げました。村上のウィンザーチェアは、伝統を基調にしながらかみ式を超えて、村上にしか作り出せない仕事として、人々の心を捉えたのでした。

84年に、再びニューヨークに赴き、彫刻家ドナルド・ジャッドの椅子を制作するなど、熱気に溢れたアート・シーンの中で刺激を受けて帰国すると、村上オリジナルの椅子も作り始めました。木の座板を持つ椅子にこだわり、美しい曲線で体に吸い付くような座り心地と絶妙なバランスのロックキングチェアを作るなど、晩年まで新作を生み出していました。

日本の木工家具の分野では、70年代になると、それまでの高度成長期の大量生産や使い捨て、自然破壊、伝統の切り捨て、画一化といった価値観に対する疑問を持った団塊世代の若者が社会に出て、自ら工房を構え、注文制作に止まらず、家具という造形表現によってオリジナリティを模索するようになりました。80年代には、数多くの木工家が展覧会活動などを通じて世に出ましたが、技術的には未熟な場合も多かったのです。そんな中で、村上は曾祖父から続いた木工所で、すでに20年近く家具から建具までこなしていたので、30代半ばにはもう一人前の職人となっていました。木工家の仕事の中に、使い手のニーズに技術で応える職人性とオリジナリティを追求する作家性があるとすれば、村上の仕事は、職人と作家が高い次元でバランスを保ちながら、美しい椅子を作り出した希有な仕事といえるでしょう。



# ほろ酔い工芸

三つの素材による酒器と地酒の立ち飲み酒屋

文 田中あや乃 写真 佐藤千絵



## ■出展作家

大場芳郎（漆） 小久保朝司・小久保隆司（陶器）  
豊田恭子（磁器） 高橋漢・池内康祐・宮本崇輝（ガラス）

## ■地酒

岩波酒造 亀田屋酒造店 笹井酒造 大信州酒造 善哉酒造

## ■価格

地酒 5 勺 300 円 甘酒 300 円 酒肴盛合せ 500 円

## ほろ酔い工芸

5 月 11 日（金）・ 12 日（土）酒器販売は 5 月 11 日（金）～ 31 日（木）  
13:00 ～ 20:00 入場無料

三代澤酒店

松本市大手 4-9-11 ☎ 0263-32-1525

営業時間 9:30 ～ 19:30 日曜日定休（5 月 13、20、27 日は営業）

企画に関する問い合わせ ☎ 工芸の五月企画室 0263-34-6557

「食」は偉大です。空腹だけでなく、誰かと仲良くなりたいたい、話したい、そんな気持ちも満たします。飲食を介して楽しくなる、温まる、それは、工芸と私たちの間においても同じ。ふらりと立ち寄って、ちよつと一杯。手に取った器と、居合わせた作家や酒造の杜氏と知り合うチャンスがそこにあるかもしれません。

1 合の半分 5 勺をお注ぎします。おつまみは、数種類ある中から 3 つを盛合せ。「発酵系」をテーマに県内の味噌やチーズなどを揃えました。こちらもお皿が選べます。アルコールが苦手な方には甘酒を。店内で器の購入も可能です。

作り手である工芸作家や酒造場、売り手である酒屋、使い手である私たち。素材の違う器、地酒、酒肴との意外な取り合わせ。その先に広がる楽しみを知るきっかけに、ほろ酔い工芸の立ち飲みはいかがですか。



## コーヒーのある風景をつくる L PACK が



松本でやりたいこと。やれること。

文 田中あや乃 写真 佐藤千絵



池上邸の蔵を使って2009年から三度にわたって開催したインスタレーション「池上喫水社」。複数の作家による工芸作品と湧水、コーヒーで風景をつくった「L PACK」が、今年は単独、蔵の中からまちの空の下へ繰り出して、人の集う時間と場所を出現させます。

L PACK は小田桐奨さんと中嶋哲矢さんによるカフェユニット。道具を詰めたバックパックを持ち、出かけた先で「コーヒーのある風景」をつくっています。学生時代に建築を学んだふたりは「新たにものをつくったりすることだけが建築というわけじゃない、そこに人が集まっている状況も建築なんじゃないか」という考えから、出会いやコミュニケーションの場をつくるための媒介としてコーヒーを使い、まちの風景の一部になるべく活動しています。

今回の「徘徊珈琲」は、屋外に工芸作家のツールをしつらえ、人同士はもちろん、人と工芸の出会いもコーヒーが媒介。しかも、文字通りまちのあちこちを徘徊し、3日から6日は緑町の辰巳公園に出没します。「ツールは、背負うか、自転車に積むか…いずれにしても運んで、着いた場所でコーヒーを淹れます」というから、ハメルンの笛吹きの、後ろにつ

いて歩きたくなりそうな状態でしようか。さらに「ツールは座らないかもしれない」のどとか。いつもの街角でコーヒーを飲みながら、日常的に使われる工芸品を眺める…、彼らがつくる「普段」に「非日常」を少し混ぜた空間は、私たちに新たな発見を与えてくれそうです。

2012年3月までは、横浜市黄金町に一時的な拠点「LCAMP」を構えていました。移動しながらコーヒーを淹れる「行商系」が原点ですが、やはり発信する基地があるのはいいなと思って。黄金町の拠点は、再開発によって建物を取り壊されてしまいました。またどこかに構えたいです。松本に来て感じるのは、『いいなあ』という素直な気持ち。空気がいい、水がいい。できれば日本の各地にいくつかのLCAMPを置きたいのですが、そのひとつは松本にしたい。いま、物件を探しているところなので、おすすめがあったら教えてほしいです」。



徘徊珈琲

5月3日(木祝)～6日(日)  
10:00～17:00

緑町 辰巳公園

その他の出没場所は天気・気分により変更予定につき工芸の五月ホームページをご覧ください。

<http://matsumoto-crafts-month.com/>

徘徊  
珈琲



つい「おかあさん」と呼びたくなる人柄の久子さん。器使いだけでなく、料理の腕前も達人とお見受けします。

utsuwa gallery あんざい  
福島市にある「あんざい果樹園」のおかあさん・久さんが、自宅である古民家の一角で営む店。普段使いできる陶磁器のほか、布小物や木の道具、オリジナルの雑貨を扱っています。  
福島市町庭坂原ノ内 14  
<http://www.ankaju.com/>



## 福島の「utsuwa gallery あんざい」が 3日間限定で池上邸の蔵にやってきます。

文 塚田結子 写真 モモセヒロコ

福島市のどかな農道「フルーツライン」沿いに、安齋一寿かずしゅさんが営む「あんざい果樹園」と、妻の久子さんが営む「utsuwa gallery あんざい」があります。ともに果樹園を切り盛りし、直売所横で「cafe in CAFE」を営んでいた次男の伸也さん、明子さん夫婦は、東北を襲った大地震とそれに続く原発事故後、幼子連れて北海道へ移り住みました。

季節ごとの果物を求めて果樹園を訪れ、旬の果物を使ったスイーツをいただきつつカフェで和み、心地良いギャラリーでお気に入りの器や道具を見つける。たくさんの人でにぎわったこの場所が、すっかりさみしくなってしまうたと久子さんは言います。いつそこかへ移り住もうかとも考えたけれど、一寿さんの祖父の代に植えられた樹齢100年を越す梨の木もあるという果樹園を放っていけないと、ふたりはこの地に留まっています。

家族や果樹園を手伝う人々で囲む安齋家の食卓は、とてもにぎやかなものでした。器は食べ物を引き立て、食卓を彩り、豊かな時間をもたらしてくれる。もっと食事の時間を大切に



皮肉なことに、震災のあった2011年の実りはことのほか豊かで、リングも蜜たっぷりにおいしく実ったといえます。



にしたい。そんな思いから久子さんはギャラリーを開きました。今は散り散りになっていますが、毎日三食、当たり前のようにひとつの食卓を囲んでいた家族の絆は強いものです。  
そんな家族の食卓からはじまった久子さんのギャラリーには、普段使いのできる器や、使い勝手の良さそうな道具が並びます。松本での「移動あんざい展」では、暮らしの息づかいを感じる「utsuwa gallery あんざい」の居心地良い空気まで、お届けできればと思っています。



移動あんざい展  
5月25日(金)～27日(日) 10:00～17:00  
池上邸 蔵 松本市中央 3-13-11

湧水と工芸で楽しむ松本の町をご案内

 [みずみずしい日常2012]  
MIZU NO SAMPO 旅行社みずのさんぽ  
Travel Craft

文 一ノ瀬彩 写真 モモセヒロコ

町への切符「みずさじ」と一緒にでかけよう！



「みずさじ」お貸しします  
すべてのさんぽツアーで  
「みずさじ」をお試しい  
ただけます。ご購入は、  
松本市美術館ミュージア  
ムショップや市内ギャラ  
リー、松本城売店などで  
取り扱っています。詳しく  
は、公式ブログをご覧  
いただくか、旅行社みず  
のさんぽ（松本市美術館  
1階情報交流館）までお  
問い合わせください。  
<http://mizusanpo.exblog.jp/>



松本の町には暮らしを楽しむ隠  
れた井戸・湧水・水路がたくさん  
あります。地元の人たちには、コー  
ヒーや緑茶、氷、お米を炊く水  
を、それぞれ違う場所で汲むこと  
わりがあるのです。そんな水をお  
裾分けしてもらい、湧水や井戸の  
ある風景とともに楽しんでみま  
せんか。旅行社みずのさんぽが、「み  
ずのさんぽ」を楽しくしてくれる  
スポットや道具をご案内します。

道具のひとつ「みずさじ」は、  
湧水をすくって味見できるように、  
陶、ガラス、木工などの作家たち  
が思い思いに作っています。「みず  
さじ」が町を楽しむための小さな  
切符となって、たちまち貴方を湧  
水や井戸へと誘うことでしょう。

- みずさじの使い方
- 一、湧水・井戸を見つめる
  - 二、みずさじで味わう
  - 三、お礼をする
  - 四、湧水・井戸を飲み歩く
- ※みずさじぶくろに  
入れて持ち歩くと乙



## ガイド付きみずのさんぽツアー

みずめぐり姫と巡る湧水・井戸・水路（水塗り絵マップ・ききみず喫茶付き）  
5月6日(日)、26日(土)、27日(日) 先着順 各回 10名

建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル 城西編  
5月3日(木祝)、6日(日)、26日(土) 先着順 各回 15名  
城下町小回りみずのタイムトラベル 城東編（水塗り絵マップ付き）同日開催予定

みずさじ作家と歩く湧水・井戸・水路（ききみず喫茶付き）  
5月5日(土祝) 13:00～15:00 要予約/先着順 15名

スペシャルイベント源池みずそばの会（みずめぐり姫が会場まで御案内）  
5月4日(金祝) ① 11:00～ ② 13:00～ 要予約/先着順 15名

旅行社みずのさんぽ オープン日時 5月3日(木祝)～6日(日)、26日(土)、27日(日) 10:00～17:00  
日程や各ツアーの情報は「旅行社みずのさんぽ」公式ブログ <http://mizusanpo.exblog.jp/> または旅行社みずのさんぽ（松本市美術館1階情報交流館）まで。



水塗り絵マップ  
「みずまきあるき」  
巡った湧水、井戸、水路をその場で水塗  
り絵できるクラフトガイドマップ。松本  
の水の歴史や秘密、おすすめスポット解  
説なども掲載。「みずさじ」を購入したり、  
ツアーに参加するともらえます！

みずみずしい日常2012  
人場研（企画・デザイン）永木卓（ガラス）岡澤悦子（陶）田中一光（陶）田中恭子（ガラス）田路恭子（木工）水垣千悦（陶）百瀬陽子（布）重実生哉（グラフィック）  
西森尚己 三沢枝美子 塩原幸子 茂原奈保子 辰日量平 信州大学有志+柳瀬研究室 VOLNET 日本建築家協会 JIA 長野県クラブ（川上恵一 荒井洋 山田健一郎  
藤松幹雄）米山文香 みんな源池会 数崎志穂（立正大学）瑞松寺 松本市美術館 松本城管理事務所 松本市内の井戸をお持ちのみなさん 他多数

ちなみに和菓子の老舗

# 開運堂

の看板は秋山白巖によるものです。

近所の自転車屋さん  
岡田バイク参上!



私はね、  
子どもの頃  
白巖先生に  
習字、  
習ってたよ。

ふむふむ  
看板といえども  
深いなあ



今は亡き父が  
趣味で木工を  
やっていたのです。  
看板の文字は  
秋山錦城という  
秋山白巖の弟子が  
書いたものです。



書道用品専門の老舗、大和信水堂  
誰がこれらの看板を作ったのか  
気になっていたので、お店の方に  
聞いてみました。②

あがたの森通りを  
とことろ行き、  
本町通りを曲がった先の  
高砂通りへ。

①

まずは松本の玄関口、松本駅にある看板は曾山環翠によるもの



ノコギリ屋の看板はやっぱりノコギリ。  
中屋ノコギリ店 ④

あがたの森通りに戻って東へ。

何年かに一度  
木工職人に  
お願いして  
塗り直して  
いるんですよ。



芸術館の先にある八百屋さん、おやおや。  
この看板はカラフルで楽しい。③

またまたあがたの森通りに戻って  
深志3丁目の交差点を北へ。



## まつこの看板をめぐる旅

わたしはまつもとまつこ。最近のマイブームは看板。町を歩いていると本当に色々な看板があるの。  
今日はそんな気になる看板達の一部をご紹介します。



絵と文 モモセヒロコ



◎各店の場所はp26のマップ  をご覧ください。



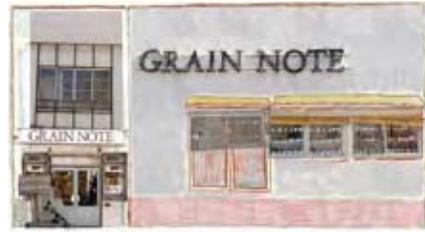
たつのご書店の看板は人形作家の木島千草さん作。木のバッタは木工作家の小田時男さん作。

9

ちきりや工藝店の表札、焼き物でできています。丹波の職人が作ったそうです。



7



グレイン・ノートは家具職人の指田哲生さんによるもの。木でできています。

6

駅前大通りにあるパン屋さんの看板も作っています。→



中央民芸の看板のロゴは丹沢銚介のデザイン

5

中町へ行ってみよう



弁天そばの篆書看板は篆刻家関野香雲によるもの。

10

縄手通りへ



原田泰治さんのお父さんが作った看板。文字はかまぼこ彫りした木に漆塗りしてから本物の金箔を貼り重ねて作られています。看板本体は10円硬貨と同じ銅板を鱗状に貼ってあります。

8



原田泰治さんは竹風堂のマークをデザインしています。

看板は父の石曾根民郎が書いた文字をもとに飯野歌ノ助さんが作りました。民郎は川柳しなのという川柳雑誌を作っていました。丸山太郎さんや中村善策さん、石井柏亭に表紙を描いてもらった号もあるのです。



店内ののれんを見ると民郎という人の川柳が書いてある。



大名町通りへ



工芸の五月2011で館の会をやった池上百竹亭の看板は荻原井泉水によるもの。お庭には井泉水の書いた寿塔があります。無・何・有・寿とあり「どこにもないような寿」というおめでたい意味だそうです。

14

さあ帰ろう  
歩くと看板が  
気になって気が  
なつて...  
もう病氣



モヤモヤ  
古本買った。買った。



丸山太郎が表紙を描いた川柳しなの

11



店主の石曾根博男さん



百趣の看板。面白いですね。文字も素敵です。



百趣の道草コーナーで読書もする。

お城の北へ

松本城入り口にある石碑の文字は上條信山によるもの。

13



お城へ



店名は画家滝川太郎の命名。店内に命名時の書あり。

12

百趣のお隣の古本屋さん、青翰堂。この建物、松本城の120年なのです。

ケヤキやブナの雑木林を抜けた先に見える、土蔵造りの建物——松本民芸館は市街地を少し離れた閑静な場所にあります。館内に入ると、時間が戻ったような懐かしい感覚に包まれます。

「こういう場所は一昔前まではたくさんあったでしょう。現代の人がふっと癒されるような、心のどこかで求めている空間なのかもしれないですね」と館長の丸山廣登さんは話します。

館内には創設者である民芸品蒐集家・丸山太郎が集めた品々が常時800点ほど並びます。家具や面、かご、食器など収蔵総数は6800点。これは国内の民芸館の中でもかなりの数で、個人の蒐集品となると国内一だそうです。

丸山は1962（昭和37）年に自費で開館し、1983（昭和58）年には土地、建物を含め全て松本市に寄付しています。「27歳から亡くなるまで50年近く、生涯をかけて蒐集しています。寄付したのは、美しいものを皆にしっかりと見てもらいたいという気概があったのででしょう」。

「民藝」は柳宗悦が河合寛次郎、濱田庄司とともに考え出した言葉だといえます。柳は1936（昭和11）年、東京・駒場に日本民芸館を創設。当時、27歳だった



左上から池田三四郎、丸山太郎  
左下から池上喜作、柳宗悦、三代澤本寿



## 松本民芸館五十周年 民藝の歴史と今をつなぐ場所

た丸山は新聞でそれを知り、上京の際に立ち寄って強い刺激を受けました。その後も再訪し、柳の著作にも導かれて次第に民藝に傾倒していきます。1946（昭和21）年には池上喜作、三代澤本寿らとともに日本民芸協会長野県支部を設立。このころから柳は毎夏、来松するようになり、柳と面会するためにバーナード・リーチや棟方志功など多くの人が訪れ、語り合い、民藝への思いを深めました。開館の前年、残念ながら柳は亡くなりましたが、訪れた多くの人たちは、本当にいいものが揃っていると、丸山の審美眼に感じ入ったといいます。

歴史的な重みと、現代の人々にとっての安らぎを併せ持つ場所。館内には丸山の自筆で記された思いが展示されています。「美しいものが美しい」——この思いは過去から現在、そして未来へと受け継がれていきます。

松本市美術館開館 10 周年記念

## モダンデザインの精華～宇都宮美術館コレクションと松本でみつけたグッドなデザイン～

4月14日(土)→6月10日(日)



国内随一のモダンデザインコレクションを所蔵する宇都宮美術館の優品から「仕事」「食」「住まいとくつろぎ」などに着目した生活用品約120点を展覧します。あわせて松本市周辺の優れたデザイン製品について検証します。

エットーレ・ソットサス・ジュニア《ポータブル・タイプライター「ヴァレンタイン」》1997年(オリジナルは1969年)宇都宮美術館蔵

### 松本市美術館

松本市中央 4-2-22 ☎ 0263-39-7400

9:00～17:00(入館は16:30まで)

※5月26日(土)は、20:00まで(入館は19:30まで)

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日。5月1日は開館)

料金/大人1,000円(900円)、大学高校生・70歳以上の松本市民600円(500円)

※( )内は20名以上の団体料金

※中学生以下無料、障害者手帳携帯者と付添者1名無料

前売券/大人800円、大学高校生・70歳以上の松本市民400円(販売期間4月13日まで)

無料開放日/4月21日(土)・5月1日(火) すべての展示室を無料でご覧いただけます

## 復活 みすず細工展

4月28日(土)→5月27日(日)



松本の特産品であった竹細工、「みすず細工」をご紹介します。松本から全国へ流通していたみすず細工もほとんど見ることができなくなりましたが、もう一度復興しようという動きが活発になっています。

今回は、昔ながらのみすず細工をご紹介しますとともに、現代の匠(の卵?)たちの作品もあわせてご紹介します。長い時を経た大人のみすず細工と、新しく復活した若いみすず細工。これからの「モノづくり」を考えるよい機会となるのではないのでしょうか。

### 松本市立博物館

松本市丸の内 4-1

☎ 0263-32-0133

8:30～17:00 4月28日(土)～5月6日(日)は18:00まで

休館日/年末年始 会期中無休

料金/大人200円 小人100円

松本城との共通券/大人600円

小人300円

※20名以上団体料金あり

5月1日は無料

## 中町と民芸

4月28日(土)→5月31日(木)

民芸のまち・松本、とりわけ中町には「ちぎりや」に生まれた丸山太郎に代表されるように、「手仕事の美」を尊ぶ伝統が今も息づいています。松本にはもともと、みすず細工や松本箆筒、足袋などに代表される城下町時代から続く職人技があります。こうした手仕事の伝統が、のちに松本で起きる民芸運動につながっていきます。今回の企画展では、戦後の松本の民芸運動を担ってきた人々の作品と、松本の伝統工芸品をコラボレーションで紹介いたします。



丸山太郎  
螺鈿文庫

### 松本市はかり資料館

松本市中央 3-4-21 ☎ 0263-36-1191

9:00～17:00 4月28日(土)～5月6日(日)は18:00まで

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日。5月1日は開館)

料金/大人200円(20人以上の団体150円) 小人 無料

5月1日は無料

## 美しいものが美しい

4月24日(火)→7月29日(日)

松本民芸館 開館 50 周年記念

## 50年の歩みと丸山太郎のころざし

4月24日(火)→25年2月24日(日)

松本民芸館は、昭和37年に開館し、今年で50周年を迎えました。創設者丸山太郎は『美しい心の人が多くなって欲しい。そのために美しいものを示し、見てもらい、美にあこがれ、これを作り、これを使い、正しい心が養われていって欲しい。私はそんな気持ちで人を待っている。』と記しています。心に温かさがあとを引く丸山太郎が選んだ民芸品の数々と、そして、丸山太郎自身の作品をご覧ください。



### 松本民芸館

松本市里山辺 1313-1 ☎ +Fax 0263-33-1569

9:00～17:00 4月28日(土)～5月6日(日)は18:00まで 入館は閉館30分前まで

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日。5月1日、28日は開館)

料金/大人300円 小中学生と70歳以上の松本市民は無料 5月1日は無料

## 緑陰「用の美」市

5月26日(土)→28日(月)

長野県民藝協会では、松本民芸館で竹細工、裂織り、鍛冶物、小木工など信州の伝統を受け継いだ職人さんの作品を展示販売します。

藤原道山×SINSKE「ボレロ」2012 音楽  
尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ



尺八の藤原道山、マリンバ奏者 SINSKE、たった二人で奏でるオーケストラのように多彩な音のライブ。

5月6日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)  
まつもと市民芸術館 小ホール  
藤原道山(尺八) SINSKE (マリンバ)  
全席指定・税込 一般 3,500 円 高校生以下 2,000 円 (要学生証提示)

coba tour 2012  
20th anniversary  
FESTA coba



松代出身のアコーディオニスト・coba が記念ツアーの締めくくりとするコンサート。

5月25日(金) 19:00  
まつもと市民芸術館 小ホール  
coba (acc)、伊丹雅博 (gt)、天倉正敬 (drs)、JIGEN (bs)  
全席指定 6,000 円 \*未就学児入場不可  
問い合わせ ☎ 025-229-5000 (FOB 新潟)

まつもと市民芸術館

松本市深志 3-10-1 ☎ 0263-33-3800  
松本駅東口よりあがたの森通りを徒歩 10 分  
<http://www.mpac.jp/>

珠玉のベートーヴェン演奏会

チェロの山崎伸子と仲間たちによるベートーヴェンの名曲コンサート。

5月6日(日) 14:00  
ザ・ハーモニーホール (小ホール)  
山崎伸子 (チェロ)、加藤知子 (ヴァイオリン)、津田裕也 (ピアノ)  
一般 4,500 円 ハーモニーメイト 4,000 円  
高校生以下 3,000 円 (全席自由)

桑形亜樹子チェンパロリサイタル

「バッハの先駆者たち」と題し、ブクステフーデ、ベーム、フローベルガー他の作品を取り上げます。

5月27日(日) 13:30  
ザ・ハーモニーホール (小ホール)  
2,000 円 (全席自由)

松本市音楽文化ホール

ザ・ハーモニーホール  
松本市島内 4351 (JR 大糸線島内駅下車徒歩 3 分) ☎ 0263-47-2004  
<http://www.harmonyhall.jp/>



クラフトフェアまつもと

5月26日(土) → 27日(日)  
26日 11:00 ~ 17:00  
27日 9:00 ~ 17:00 雨天決行



「クラフトフェアまつもと」の会場に駐車場はありません。お得な「バス DAY まつもと」をご利用下さい。

五月のあがたの森公園に、クラフト作家たちが集います。つくり手とつかい手が顔を合わせ、それぞれの思いを通い合わせながら、暮らしの道具を選ぶ風景。芝生に寝転んで、五月の風と音楽に耳を澄ませる風景。いつもとは違うのに、どこにも無理がない、そんな「工芸」を風景にしたような時間が過ごせます。

あがたの森公園

松本市県 3-2102-4  
松本クラフト推進協会 ☎ 0263-34-6557

バス DAY まつもと

フェア期間中は 300 円でバスが乗り放題!

5月26日(土) → 27日(日)  
エネルギー消費も渋滞も減らせる公共交通。  
「自分勝手」から「みんなのことも考える」交通の時代へ  
アルピコ交通の松本近郊路線バス全線 平日ダイヤ運行  
1日券 300 円、1乗車 100 円、小学生以下無料  
※高速バス / 特急バス / 観光路線(上高地・乗鞍・白骨温泉・美ヶ原方面)は除く  
[バス DAY まつもと] についてのお問い合わせは  
アルピコ交通(株) ☎ 0263-28-3111 (平日のみ)

SPIRALE+

5月22日(火) → 27日(日)

関東を拠点に活躍する、立体造形作家を中心としたグループ展です。金属、石、ガラスなど、様々な素材の魅力が作り手の中で作品として昇華され、メッセージを伝えてくれます。素材に近づき時に離れ、工芸や彫刻といったカテゴリも超えて、作り手個人の物語が綴られていく様をお楽しみください。



松本市美術館 2階市民ギャラリーA  
松本市中央 4-2-22 ☎ 0263-39-7400  
10:00 ~ 17:00

クラフトステーションギャラリー展

「てのひらに」

5月19日(土) → 27日(日)  
11:00 ~ 17:00



クラフトフェアまつもとの出展作家に「てのひらに」をテーマに作って頂きました。てのひらを見つめた先に広がる世界をお楽しみください。

5月19日(土) → 24日(木)  
クラフトステーションギャラリー  
5月26日(土) → 27日(日)  
あがたの森講堂棟 2階教室

クラフトステーションギャラリー  
松本市県 1-2-15 ☎ 0263-34-6557  
10:00 ~ 17:00 火・水曜定休



## ギャラリー案内

町に灯された工芸のあかりを訪ねて

工芸と人をつなぐ場所。

それが、町にたたずむギャラリーです。

霧水のおりた針葉樹林のように凜とした空気だったり

待ちこがれた春風が吹く縁側のようにやさしい空気だったり

ギャラリーには店主たちの生き方までもが

投影されているように感じられます。

そして、ギャラリーは、つくり手の思いと

それに魅せられた店主たちの思いが漂う場所。

つくり手と店主が生み出す空気だからこそ

ギャラリーが変わると同じつくり手の品であろうとも

手に取った印象も、そこから受け取るメッセージも

どこか少しずつ異っていて、あらたな目線を指し示してくれるよう。

そうやってわたしたちを日々あたらしい工芸の世界へと

いざなってくれるギャラリーは、町に灯された、工芸を導くあかり。

ほんのりとやさしく、けれど確かに町を照らす

27の工芸のあかりを訪ねて、今日も、町へ。

文 山口美緒



### 中央民芸ショールーム

「寛ぎの椅子・ロッキングチェア特集」  
5月1日(火)→31日(木)

ロッキングチェアはとても機能的で快適な椅子。立ち座りがしやすく、体の動きに自然に寄り添います。松本民芸家具のロッキングチェアは、一度座ると立ち上がるのが億劫になるほど優しく体を包み込みます。自分の居場所だと思える椅子、長い時間が育てた寛ぎの椅子。そんなロッキングチェアの数々を特集します。  
松本市中央 3-2-12 ☎0263-33-5760  
9:30~18:00 年中無休 <http://matsumin.com/>



### ようさん工房

「ここにおいて、旅に出よう」

5月3日→29日の土日祝。28、29日 you! 春夏服展 2012 小沢夏美作品展 絵と服とのコラボレーション展示です。見ているだけで、どこかへ飛んでいけるような絵、普段を少し楽しくする服と旅グッズを展示販売します。

ようさん工房 <http://yosun43.exblog.jp/>  
小沢夏美 <http://atelier-navie.tumblr.com/>  
松本市中央 3-2-14 2階 ☎090-6567-6853  
11:00~19:00 月~金曜定休



### 工芸マエストロ

「村松学 吹きガラスの器 2012」  
4月29日(日祝)→5月27日(日)

例年ご好評いただいています、広島「カンナカガラス工房」村松学さんの吹きガラス展です。定番のシンプルなコップや鉢から、色彩が楽しい蓋もの、花器まで。ひと足早い夏支度をどうぞ。

松本市中央 3-2-15 ☎0263-33-7895  
10:00~18:30 無休  
<http://www.mcci.or.jp/www/nakamati/shop.htm>



### tónico トニコ

「kimi-noix バッグ展」  
4月21日(土)→5月6日(日)

「野山へ」

5月10日(木)→28日(月)  
小澤基晴(陶) 金井三和(陶) 田中一光(陶)  
沖澤康平(ガラス) mauve 山本葵(アークセサリー) 福田利之(絵) 木村彩子(絵)  
C23 柿澤美香(草花) 風知(草花)  
松本市中央 2-4-1 2階 ☎0263-34-6621  
12:00~18:00 (変更日あり)  
定休日: お問い合わせください  
<http://www.tonico-web.com/>



### 百趣

「指物・白川武司」

5月24日(木)→6月5日(火)  
白川武司さんは松本育ちの指物師さんです。木の扱いに熟知し、作品の上品さ、仕事の確かさには定評があります。組手の技、手鉋仕上げの表面、金具とのバランスをお楽しみください。階段箆、文具箆、葉箆、行灯。仏壇等。「道草コーナー」始めました。「図書展」銀花、工芸美術書。読書のみも歓迎。「お休み處」休憩、談話に。  
松本市大手 3-5-13 ☎0263-32-8801  
10:00~18:00 水曜定休 <http://www.hyakushu.com/>



### 蔵シク館

「糸偏の素材市」

5月26日(土)→27日(日)  
糸・布の素材展示販売とワークショップ  
下村 輝「絹の話」本出ますみ「ホッチキスパーティ」アヴリル「ゆび編みパーティ」アヴリル(糸)下村ね糸(絹)西銘通商(麻)アルタミラ(布製品)棉生テキスタイル(棉の布)イドラ(ビーズ) 他。  
ワークショップの詳細は p24  
松本市中央 2-9-15  
9:00~18:00 (27日は~17:00)



### LABORATORIO

「Pois E 展」

4月20日(金)→5月6日(日)

帽子作家・平岡あゆみさんの帽子をご覧いただきます。一点ものから日常使いのものまで。

「あたらしい日用品展」

5月9日(水)→25日(金)

東京・吉祥寺 Roundabout / OUTBOUND の店主、小林和人さんが厳選する実用的で美しい日用品が並びます。  
松本市大手 1-3-29 ☎0263-36-8217  
11:00~18:00 火曜定休(5月1日は営業)  
<http://www.ifuji.net/>



### 10cm

「中国茶のすずめ」

5月18日(金)→20日(日)  
5月25日(金)→27日(日)

中国茶の礼法は日本のお茶と比べて決まり事が少なく、自由に愉しめるのが魅力です。道具制作◎伊藤環(陶)岸野寛(陶)村上躍(陶)三谷龍二(木工)  
19日(土)[凍頂と鐵觀音の出会い]台湾から謝小曼さんをお迎えしテーブル茶会を催します。  
松本市大手 2-4-37 ☎0263-88-6210  
11:00~18:00 10cm.biz/



### ギャラリー灰月

4月21日(土)→5月6日(日)

「中村陽一アークセサリー展」

5月12日(土)・13日(日)

「ワラの籠ワークショップ」詳細は p24

5月19日(土)→5月27日(日)

「マルの西洋裂」

5月19日(土)→5月27日(日)

「丸山正 / 帯×高木由利子 / 写真展」

(会場: 高美屋文庫→灰月階下)

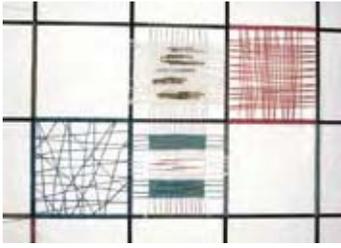
5月26日(土)→6月3日(日)

「額賀章夫陶展」

松本市中央 2-2-6 高美書店 2階 ☎0263-38-0022

11:00~18:00 火・水曜定休

<http://www.galerie-kaigetsu.com/>



### Gallery&CAFE 憩の森

「中信美術会 4 部工芸展」

4 月 27 日(金)→5 月 9 日(水)

中信地域で創作活動に励む工芸作家 30 余名の作品の展示。春風吹き抜ける憩の森で、漆・七宝・木彫・染め・織り・陶芸など多彩な工芸作品がお待ちしております。特設販売コーナーあり

写真は丸山邦江「フレームワーク A」

松本市城山 11-17 ☎ 0263-38-7660

10:00～18:00 木曜定休

<http://www.mcci.or.jp/www/ikoinomori/>



### Gargas ガルガ

「とり・鳥・トリ展 3」

4 月 28 日(土)→5 月 28 日(月)

Akané BonBon・金井三和・小沢夏美・mauve・熊谷俊行・Papier Hekisuiの皆さんが作り出すいろいろな鳥たちが並びます。素材も様々…紙・土・金属などなど。鳥が好きの方も、そうでない方も、ぜひ楽しんでみてください。

松本市深志 3-10-26 ☎ 0263-39-5556

11:00～20:00 火曜、第1・3月曜定休



### グレイン・ノート

「子供椅子展」

5 月 8 日(火)→15 日(火)

23 人の木工家の子供椅子を展示・販売します。

「自然素材を着る 渡辺珠美展」

5 月 19 日(土)→22 日(火)

ひき続き「子供椅子展」

5 月 25 日(金)→6 月 30 日(土)

松本市中央 3-5-5 ☎ 0263-32-8850

10:00～18:00 水曜定休 会期中無休



### 大場漆部 (おおばうるしべ)

「椀くらい良い物を使いたい展」

5 月 1 日(火)→28 日(月)

汁椀、飯椀、煮物椀、吸い物椀、子供椀等。気に入った自分だけの椀で、いただく喜びを味わってください。

松本市岡田下岡田 178-18

☎ 0263-46-5716

休業日・営業時間は不定休のためお問い合わせください。

<http://ohba-urushibe.com/>



### tadokorogaro

「佐古 馨 木の器展」

5 月 21 日(月)→27 日(日)

生木を使うことで生じる自然な曲線。

「燻し」「焦がし」という独自の技法による茶や黒い器や白木の器、漆の器、制作過程で生じたヒビを鏝で繕ったものなど展示いたします。

松本市元町 1-3-27 ☎ 0263-36-0985

10:00～16:30 (日曜は 11:00～18:00)

<http://onjaku-tadokorogaro.com/>



### 群青・salon as salon

「nakaban 木の油彩作品 huile sur bois 2012」

4 月 28 日(土)→5 月 27 日(日)

nakaban さんは、絵画を中心に絵本、イラストレーション、アニメーション、映像、ライブプロジェクトなど多方面で活動を行っているアーティストです。独自の手法で描写されるあまねく「色彩の目眩」monde des nakaban をお楽しみください。

松本市中央 3-5-10

☎ 0263-35-1006 (1 階) 0263-34-1006 (2 階)

11:30～19:00 月曜定休(4月30日は営業)



### Style Galle スタイル・ガレ

「素朴な日常に」陶・木工 二人展

5 月 19 日(土)→27 日(日)

内川千代美・陶 藤牧敬三・木工

日々使うモノだから 心地よいものに囲まれて自分が選んだモノを大切にしたい。使うたびに生活に溶け込む道具たち。一つひとつゆっくりと…。

東筑摩郡朝日村西洗馬 1556-27

☎ 0263-99-2492

10:00～17:00 木曜定休(会期中無休)

<http://www.stylegalle.com/>

## 朝日村



### 自遊石

「情景図鑑Ⅲ」

工芸作家によるグループ展

5 月 13 日(日)→19 日(土)

素材に触発され手が動く。その手だけにしか作りだせない形があり、それはどこにもなかった情景を生んでいきます。「用」だけではない工芸の世界をお楽しみください。

松本市中央 3-7-20 ☎ 0263-32-5265

9:00～17:00 会期中無休

<http://jiyuseki.com/>

## 安曇野



### nagi

「sewing of nagibotan」

nagibotan の衣服の展示会

5月11日(金)→20日(日)(16,17日休み)

うつわを中心に作家ものの作品を扱っています。森の奥にある静かな場所です。手づくりの作品を楽しんで頂けますように。

安曇野市穂高有明 7859-4 ☎0263-83-1272  
会期中 12:00～16:00

<http://www.3.ocn.ne.jp/~nagimkmg/>

展示会以外は、当分の間、不定休とさせて頂くため、大変ご迷惑をお掛けしますが、営業日時はHPまたはお電話などでご確認ください。



### 安曇野高橋節郎記念美術館

「漆芸家・高橋節郎の漆芸術」

期間中

満天の星空の圧倒的な迫力、豊かに広がる田園風景、雄々しい北アルプスの峰、澄んだ空気と清浄な水、移ろいゆく季節もたらず自然の恵み。高橋節郎の心に息づく故郷の美しさをその作品を通じて感じられます。恵まれた自然環境の中、高橋節郎の芸術と人に触れ、心豊かなひとときをお過ごしください。

安曇野市穂高北穂高 408-1 ☎0263-81-3030  
9:00～17:00 休館日/月曜(祝日の場合翌日)  
[http://www.city.azumino.nagano.jp/setsuro\\_muse/index.html](http://www.city.azumino.nagano.jp/setsuro_muse/index.html)



### 安曇野ちひろ美術館

「子どものための工芸展 vol.2」

5月11日(金)→7月10日(火)

子どもに伝えたいもの。ずっと大切にしたいもの。銀細工、陶器、染、木工など現在活躍中の工芸作家が子どものためにつくった作品を展示、販売します。5/20には、出演作家によるほうぎづくりのワークショップも開催します。詳細はp24。

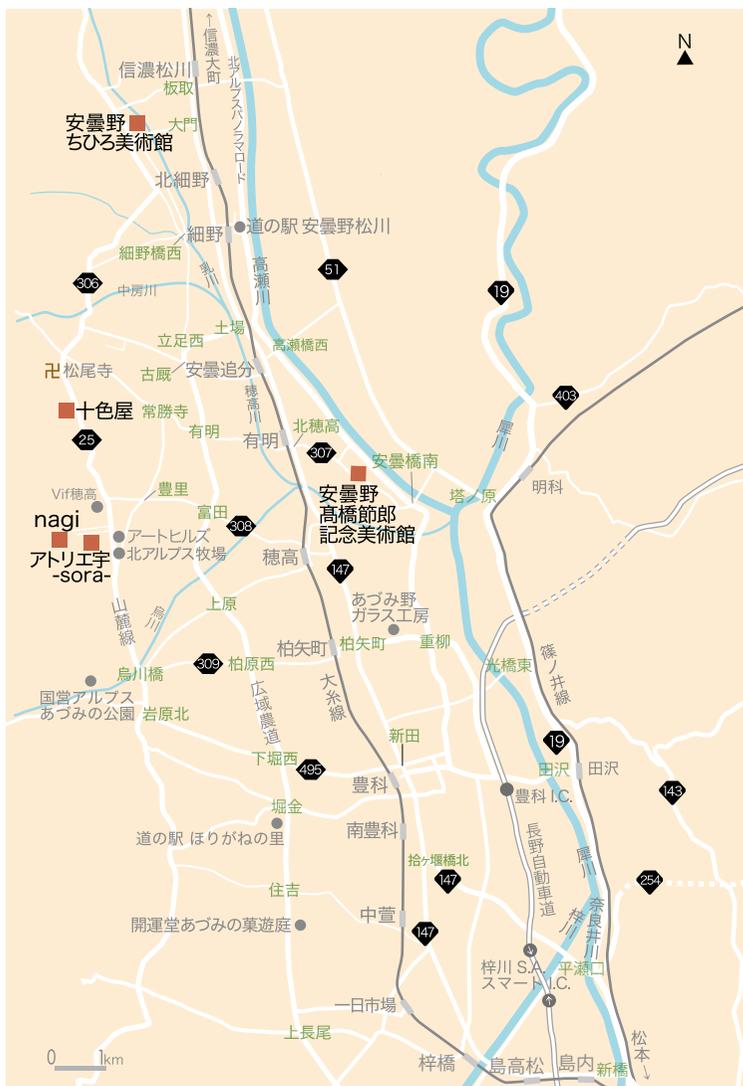
北安曇郡松川村西原 3358-24

☎0261-62-0772

9:00～17:00 (GWは～18:00)

第2・4水曜休、5/10(木)休、GW無休

<http://www.chihiro.jp/>



### 十色屋

「TOIRO 展」

5月24日(木)→31日(木)

屋号展参加企画の十色屋のTOIRO展です。十人十色の作風で、染色・ガラス・陶器・etc 個性的で楽しい作品が集まります。いろいろな色や形が集まるのか。どうぞお楽しみに。

安曇野市穂高有明 2186-112

☎0263-83-2289 10:00～17:00

火曜定休 期間中は無休

<http://www.toiroya.com/>



### アトリエ宇-sora-

「soraの空展」

4月28日(土)→6月3日(日)

屋号展参加企画「soraの空展」です。様々な素材による、いろいろな「空」が、アトリエ宇-sora-に広がります。

春の安曇野に、あなたの空を、探しに来てください。

安曇野市穂高有明 8172-3

☎0263-88-5539 10:00～17:00 不定休

<http://sfrsora.exblog.jp/>



**すみれ洋裁店**

「ごっこ社の新しい郷土玩具展」  
 4月29日(日祝)→5月31日(木)  
 ごっこ社は相澤和典・小口緑子・金井三和・野村剛による郷土玩具を扱う夢の会社です。郷土に伝わる素朴で魅力ある造形を見つめ直し、新たな時代に捧げる新しい郷土玩具の開発を目指します。  
 出品：小口泰史、熊谷俊行、田嶋健、田中一光、津金多朗、濱亮平、と社員。  
 諏訪郡下諏訪町御田町下3210  
 ☎ 0266-27-8386  
 12:00～18:00 日曜定休(4/29と5/6は営業)  
<http://sumire-yousaiten.blogspot.com/>



**松葉屋家具店**

「ギャッベ GABBEH  
 大地と空、火と草色のじゅうたん展」  
 4月21日(土)→5月6日(日)  
 『なんて美しい手織りの布』。ひと目見て、触れたとき、じゅうたんの価値観が100%変わってしまう。ペルシャの遊牧民が手で糸を紡ぎ、草木染めし、一本一本手織りするじゅうたんギャッベ。ゾランヴァリ社から入荷したばかりの美しいギャッベが450枚、集まります。  
 長野市大門町45 ☎ 026-232-2346  
 10:00～18:00(会期中9:00～20:30)  
 水曜定休 会期中無休 <http://art-gabbeh.com/>



**ガレリア表参道**

「村地忠太郎と木の匠たち展」  
 4月28日(土)→5月8日(火)  
 村地忠太郎を中心に、飯島正章(上松町)岩崎久子(原村)狐崎ゆうこ(飯島町)小間豊(木曾町)酒井邦芳(塩尻市)谷進一郎(小諸市)など、木の匠たちによる展覧会です。信州の木の仕事の奥深さを感じていただきたいと思います。  
 長野市東後町21 グランドハイツ表参道式番館B1階 ☎ 026-217-7660  
 10:00～18:00(日曜・祝日、最終日は～17:00)  
<http://omotesando-nagano.com/>



**麻倉ギャラリー**

「春の街なかギャラリー 2012 展」  
 4月21日(土)→5月20日(日)  
 麻倉1階ギャラリー  
 麻倉メンバーを中心とした展覧会です。  
 「麻倉ノスタルジア・明治のしつらえ展」  
 4月21日(土)→5月6日(日) 麻倉2階  
 江戸・明治の漆器・陶磁器の展覧会  
 入場料 300円  
 「魚に釣られた作家展」  
 5月19日(土)→5月27日(日) 麻倉2階  
 フライフィッシングの愛好家による展覧会  
 大町市大町4095-13 ☎ 090-7190-2256(廣川)  
 10:00～18:00 火曜定休  
<http://www.asagura.com/>



**galerie 夏至**

「Bleu 青」10周年記念企画Ⅰ  
 5月17日(木)→5月28日(月)  
 オープンより10周年の記念企画 vol.1 です。夏至という名前から、イメージカラーとしてきた色「青」。21名の作り手の方に、様々な青いものを作って頂きました。青石の彫刻、絹のワンピース、真青なコップ、コバルトの花挿し、青漆・紺青のポット、青い香…。淡い水の色から、葉の青緑、闇の群青まで。5月の青い空の下、沢山の「青」をご覧ください。  
 長野市大門町54 2階 ☎ 026-237-2367  
 11:00～18:00 火曜+月2回水曜定休  
<http://www.janis.or.jp/users/geshi/>





**ホテル ブエナビスタ**  
「ホテナカ～セレクトギャラリー」  
4月29日(日祝)→5月31日(木)  
だれでも気軽に立ち寄れるロビーギャラ  
リーとして工芸作家の作品をディスプレイ。  
1階ショップ「ハセオ」では、作品の販売  
も行います。詳細はHPにて。  
松本市本庄 1-2-1 ☎ 0263-37-0111 (代)  
8:00～20:00 <http://www.buena-vista.co.jp/>



**和かふえびいんず**  
「暮らしの中に楽しさを求めて」  
4月25日(水)→5月28日(月)  
かわいいオブジェや陶器の小物、染め、  
織りの身の回りのものをあつめてみまし  
た。(作家名; M2+K2 他)  
松本市中央 2-9-5 ☎ 0263-31-0649  
10:00～19:00 火曜定休



**時代遅れの洋食屋 おきな堂**  
「EATS and CRAFTS—家族の食卓」  
5月12日(土)→27日(日)  
毎日使うものだから…家族を笑顔にする  
器やカトラリー、ランチョンマットなど  
を集めました。おきな堂定番の懐かしい  
味も現代の作家の器で味わえます。  
松本市中央 2-4-10 ☎ 0263-32-0975 無休  
9:00～18:00 [www.okinado1933.com/](http://www.okinado1933.com/)



**スタジオママル**  
「自分でつくる台所道具」  
5月1日(火)→5月31日(木)  
今の自分に必要な道具を、自分の足で野山を  
めぐって、見つけた材料で作りとここん使う。  
ある女性の生き方から学んだ、誰もが自分で  
作って使ってみたくなる、小さな家具や台所  
道具のアイデアをご紹介します。  
松本市新橋 6-16 ライフスタイルマーケット  
☎ 0263-87-7056 10:00～19:00 不定休  
<http://mammal.jp/>



**のまど ～手作り工芸作家の店～**  
陶展「日本の心～和・美(わび)～」  
4月28日(土)→5月31日(木)  
陶人形作家・平形牧男の人形を中心に遊び  
心の焼しめの器、独創的な和モダンの器な  
ど平形ワールド満開です。心温まる空間を  
演出します。  
松本市中央 3-4-18 ☎ 0263-36-2356  
10:00～18:00 第1・3水曜定休(5月2日は営業)  
<http://stationarynomado.web.fc2.com/>



**カレーの店 デリー**  
「三代澤本寿 型絵染作品展」  
4月29日(日祝)→5月31日(木)  
松本市出身で、松本の民芸運動に力を注い  
だ染色工芸家、三代澤本寿の作品展。店内  
に7、8点のパネルや染め絵を展示します。  
松本市中央 2-4-13 ☎ 0263-35-2408  
11:15～18:00 水曜定休

**すず竹で編む小さなかご**



5月12日(土)14:00～16:00  
講師/みすず細工復活プロ  
ジェクト  
対象/小学4年生以上  
(ハサミを使います)  
定員/16名(要予約)  
料金/1,500円

すず竹で小さな竹かごを編みます。四つ目編み  
という編み方で、初めての人でも簡単に編むこ  
とができます。草花を飾ったり小さなお菓子を  
入れたり、色々な使い方を楽しんでください。

**フレグランスキャンドル**



5月19日(土)14:00～16:00  
講師/西牧隆行(lifart...)  
対象/中学生以上  
持ち物/エプロン  
定員/15名(要予約)  
料金/1,000円

大豆ワックスを使ってガラス瓶入りフレグラン  
スキャンドルを作ります。30種類ほどの香料の  
中からお好みの香りを選び、オリジナルのキャ  
ンドルを作りましょう。



親子のためのワークショップ  
**ちいさな帯づくり**  
5月20日(日)  
10:00～12:00 13:00～15:00  
講師/吉田慎司  
定員/各8組16名 大人  
だけの参加も可(要予約)  
料金/2,500円

神奈川県産のホウキモロコシや藍、茜など草  
木染で染めた糸を使った、子どもにも使いや  
すい卓上用のほうきを作ります。  
申込/安曇野ちひろ美術館 ☎ 0261-62-0772  
予約開始/4月2日(月)9:00～  
場所/安曇野郡松川村西原 3358-24

申込/工芸の五月企画室 ☎ 0263-34-6557 市生涯学習課 ☎ 0263-32-1132 予約開始/4月28日(土)11:00～  
場所/Mウィング・中央公民館4階工作室 松本市中央 1-18-1

**木の車作り**



5月3日(木祝) 13:30～15:30  
ラジコンカーのように前輪が向きを変えられる  
木の車を作り、カーレースをしよう!  
講師/山田義明(Y.Yミレニアム家具工房)  
対象/園児～小学生(園児は親子参加のこと)  
持ち物/汚れても良い服装  
定員/10名(要予約)  
料金/1,500円

**ノッティング ちいさなラグ織り**



5月4日(金祝) 13:00～17:00  
ノッティング(結び織り)のラグを作ります。  
木綿の経糸にウールの束を結んで、織り上げます。  
講師/松島しづ(ATELIER VERT et NOIR)  
対象/中学生以上～成人  
定員/8名(要予約)  
料金/2,500円

申込/松本市美術館 ☎ 0263-39-7400  
予約開始/4月5日(木)9:00～  
場所/松本市美術館1階市民アトリエ 松本市中央 4-2-22

**絹の話・道具の話と絹糸作り・真綿紡ぎの実演**

5月26日(土) 18:00～19:30  
講師/下村輝(下村ねん糸)  
参加費/無料・予約なしで当日参加自由

**羊毛素材学「ホッチキスパーティー」**

5月27日(日)10:00～15:00  
NZ、豪州、英国の羊毛のサンプリングをして「羊  
の手帖」を作成。素材を生かして紡ぎ、織・編み・  
フェルトに応用する。羊毛を広く深く学びます。  
講師/羊毛クラッサー:本出ますみ  
定員/10名(要予約)  
参加費/8,000円  
申込/スピンハウス ☎ 075-462-5966

**ゆび編みシュシュとフラワーパーティ**

5月26日(土)・27日(日) 随時受付(所要時間20分)  
参加費/500円(材料費込)  
問合/アヴリル三条店 ☎ 075-211-2446

場所/蔵シック館 松本市中央 2-9-15



**ワラの籠ワークショップ**

5月12日(土)・13日(日)  
各13:00～16:00  
素朴な小さなワラの籠作り、持ち帰ることができます。  
ご一緒に作ってみませんか?  
講師/加藤由美子  
料金/3,500円(材料費込み)  
定員/両日5名ずつ(先着順)  
申込/灰月 ☎ 0263-38-0022  
予約開始/4月20日(金)～  
場所/灰月・展示室  
松本市中央 2-2-6 2階

# 工芸の五月 全スケジュール

松本市内

朝日村

安曇野

長野

下諏訪  
大町

ギャラリー以外

	4/29	30	5/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
松本市美術館	モダンデザインの精華 → p17																																
松本市立博物館	復活 みずず細工展 → p17																																
松本民芸館	美しいものが美しい 50年の歩みと丸山太郎のころざし → p17																																
松本市はかり資料館	中町と民芸 → p17																																
あがたの森公園	クラフトフェア まつもと → p18																																
松本市美術館子供創作館	はぐくむ工芸 子どもたちへつなげたいもの → p6																																
松本市美術館中庭 市民創造ひろば	【美しい絵本語り】5月3日 「ワークショップ」木の車作り 5月3日/ノッティング ちいさなラグ織り 5月4日																																
松本市美術館情報交流館	旅行社みずのさんぽ → p13																																
松本市美術館市民ギャラリーA	SPIRALE+ → p18																																
まつもと市民芸術館シアターパーク	村上富朗木の椅子展 → p8																																
まつもと市民芸術館	藤原道山X SINSKE 「ボレロ」2012 → p18																																
Mウィング	すず竹で編む小さなかご → p24																																
松本市音楽文化ホール	珠玉のベートーヴェン演奏会 → p18																																
クラフトステーションギャラリー	てのひらに → p18																																
池上邸	移動あんどい展 → p12																																
三代澤酒店	ほろ酔い工芸展 → p10																																
辰巳公園	徘徊珈琲 → p11																																
LABORATORIO → p20	Pois E 展																																
10cm → p20	あたらしい日用品展																																
ギャラリー灰月 → p20	中国茶のすすめ																																
tónico → p20	中村陽一アクセサリー展																																
百趣 → p20	ワラの籠ワークショップ マルの西洋裂・丸山正/帯×高木由利子/写真展 額賀章夫陶展																																
蔵シック館 → p20	kimi-noix バッグ展																																
中央民芸ショールーム → p20	野山へ																																
ようさん工房 → p20	指物・白川武司																																
工芸マエストロ → p20	蔵シック館 → p20																																
グレイン・ノート → p21	衆偏の素材市ワークショップあり																																
群青・salon as salon → p21	寛ぎの椅子・ロッキングチェア特集																																
自遊石 → p21	ここにいて、旅に出よう																																
Gargas → p21	村松学 吹きガラスの器2012																																
tadokorogaro → p21	子供椅子展																																
Gallery&CAFE 憩の森 → p21	渡辺珠美展																																
大場漆部 → p21	nakaban 木の油彩作品 huile sur bois 2012																																
Style Galle → p21	情景図鑑Ⅲ																																
安曇野ちひろ美術館 → p22	とり・鳥・トリ展3																																
安曇野高橋節郎記念美術館 → p22	佐古馨 木の器展																																
nagi → p22	中信美術会4部工芸展																																
十色屋 → p22	椀くらいい物を使いたい展																																
アトリエ宇 -sora- → p22	素朴な日常に 陶・木工 二人展																																
gaierie 夏至 → p23	子どものための工芸展 vol.2 ちいさな箸づくりワークショップ 5月20日																																
松葉屋家具店 → p23	漆芸家・高橋節郎の漆芸術																																
ガレリア表参道 → p23	sewing of nagibotan																																
すみれ洋裁店 → p23	TOIRO 展																																
麻倉ギャラリー → p23	sora の空展																																
時代遅れの洋食屋おきな堂 → p24	Bleu 青																																
カレーの店 デリー → p24	ギャッベ GABBEH 大地と空・火と草色のじゅうたん展																																
和かふえびんず → p24	村地忠太郎と木の匠たち展																																
のまど〜手作り工芸作家の店〜 → p24	ごっこ社の新しい郷土玩具展																																
ホテルブエナビスタ → p24	春の街ながギャラリー 2012 展 (4/21〜5/20 1階) 麻倉ノスタルジア・明治のしつらえ展 (4/21〜5/6 2階) 魚に釣られた作家展 (5/19〜5/27 2階)																																
スタジオママル → p24	EATS and CRAFTS 一家族の食卓																																
	三代澤本寿 型絵染作品展																																
	暮らしの中に美しさを求めて																																
	陶展 日本の心—和・美(わび)—																																
	ホテナカ〜セレクトギャラリー																																
	自分でつくる台所道具																																







## 工芸の五月ご協力宿泊施設一覧

### 【市街地】

- 1 ホテル モンターニュ松本  
松本市市上 3-2 ☎ 0263-35-6480  
<http://www.hotel-montagne.com/>
- 2 ホテル ニューステーション  
松本市中央 1-1-11 ☎ 0263-35-3850  
<http://www.hotel-ns.co.jp/>
- 3 ホテル モルシャン  
松本市中央 1-2-5 ☎ 0263-32-0031  
<http://www.mor-schein.co.jp/>
- 4 ホテル 飯田屋  
松本市中央 2-1-23 ☎ 0263-32-0027  
<http://www.iidaya.co.jp/>
- 5 リッチモンドホテル松本  
松本市中央 1-10-7 ☎ 0263-37-5000  
<http://www.richmondhotel.jp/matsumoto/>
- 6 東横イン松本駅前本町  
松本市中央 2-1-23 ☎ 0263-36-1045  
<http://www.toyoko-inn.com/>
- 7 トーコーシティホテル松本  
松本市深志 1-2-31 ☎ 0263-38-0123  
<http://tokocityhotel-matsumoto.wiseknot.ne.jp/>
- 8 エースイン松本  
松本市深志 1-1-3 ☎ 0263-35-1188  
<http://www.ace-inn.net/>
- 9 松本東急イン  
松本市深志 1-3-21 ☎ 0263-36-0109  
<http://www.matsumoto-i.tokyuhotels.co.jp/ja/>
- 10 ホテル ブエナビスタ  
松本市本庄 1-2-1 ☎ 0263-37-0111  
<http://www.buena-vista.co.jp/>
- 11 松本ツーリストホテル  
松本市深志 2-4-24 ☎ 0263-33-9000  
<http://www.trist.co.jp/>
- 12 ホテル 末廣館  
松本市大手 3-8-6 ☎ 0263-32-4340  
<http://www.mcci.or.jp/www/suehiro/>
- 13 ホテル アルモニービアン  
松本市大手 3-5-15 ☎ 0263-35-4500  
<http://www.harmoniebien.com/>
- 14 ホテル ハミルトンイン松本  
松本市大手 4-9-3 ☎ 0263-32-2888  
<http://www.hamilton-inn.com/matsumoto/index.html>
- 15 松本ホテル花月  
松本市大手 4-8-9 ☎ 0263-32-0114  
<http://hotel-kagetsu.jp/>
- 16 ホテル 池田屋  
松本市中央 3-4-6 ☎ 0263-32-0805  
<http://www.hotel-ikedaya.co.jp/>

### 【浅間温泉】

- 17 ホテル 玉の湯  
松本市浅間温泉 1-28-16 ☎ 0263-46-0573  
<http://www.asama-tamanoyu.co.jp/>
- 18 菊ヶ湯  
松本市浅間温泉 1-29-7 ☎ 0263-46-2300  
<http://kikunoyu.com/>
- 19 ホテル 井筒  
松本市浅間温泉 1-29-17 ☎ 0263-46-1120  
<http://www.hotel-izutsu.co.jp/>
- 20 錦の湯地木屋  
松本市浅間温泉 3-14-6 ☎ 0263-46-2332  
<http://www.jimotoya.net/>
- 21 富士乃湯  
松本市浅間温泉 3-13-5 ☎ 0263-46-1516  
<http://www.fujinoyu.com/blog/index.html>
- 22 ホテル おもと  
松本市浅間温泉 3-13-10 ☎ 0263-46-2385  
<http://www.omoto.co.jp/>
- 23 静保庵ホテル 小柳  
松本市浅間温泉 3-13-1 ☎ 0263-46-0500  
<http://www.koyanagi.biz/>
- 24 公立学校共済組合浅間温泉保養所 みやま荘  
松本市浅間温泉 3-28-6 ☎ 0263-46-1547  
<http://miyamaso.org/>

### 【美ヶ原温泉】

- 25 郵の宿 金宇館  
松本市里山辺 131-2 ☎ 0263-32-1922  
<http://kanaukan.com/>
- 26 旬彩 月の静香  
松本市里山辺湯の原 101 ☎ 0263-35-6200  
<http://www.tsuki-shizuka.com/>
- 27 追分屋旅館  
松本市里山辺 1145 ☎ 0263-33-3378  
<http://www.oiwakeya.com/>
- 28 富田屋別館  
松本市里山辺 489-3 ☎ 0263-33-8700  
<http://www.mcci.or.jp/www/shelly/>
- 29 旅館 すぎもと  
松本市里山辺 451-7 ☎ 0263-32-3379  
<http://www.ryokan-sugimoto.com/>
- 30 湯宿 和泉屋善兵衛  
松本市里山辺 451 ☎ 0263-32-2043  
<http://www.izumiyaryokan.com/>
- 31 ホテル 翔峰  
松本市里山辺 527 ☎ 0263-38-7755  
<http://www.hotel-shoho.jp/>



### 【屏温泉】

- 32 明神館  
松本市入山辺 8967 ☎ 0263-31-2301  
<http://www.tobira-group.com/myojinkan/>

### 【美鈴湖】

- 33 松本市美鈴湖もりの国 オートキャンプ場  
松本市大字三才山 1871 ☎ 0263-46-9990  
<http://misuzuko.net/>

# 工芸の五月

真と暮らしを綴る

江戸時代、松本は各地から集められた匠たちがたくさん居住する城下町として栄えました。

戦後には、柳宗悦の唱えた「民藝運動」に共感した人たちによって

木工、染織をはじめ、活発な工芸品制作がこの地でおこなわれ

こうした工芸と地域との長い関わりが礎となって「クラフトフェアまつもと」も生まれました。

「工芸の五月」は、松本と工芸の深い関わりに着目し、そこに新たなエネルギーを加えようという企画です。

工芸というと堅苦しい印象もありますが、つまりは暮らしの道具や生活品のこと。

毎年五月を工芸月間とし、松本を中心に美術館、博物館、クラフトフェアなど50の会場で工芸の企画展が開かれます。

工芸の五月 official guide book

3号

発行日 2012年4月1日

発行人 伊藤博敏

編集長・デザイン 柏木早苗

[工芸の五月企画室]

企画室長 田中一光

竹内真理子 柏木早苗 古藤未来 倉澤聡

今井浩一 大輪俊江 佐々木和美 佐藤千絵 新藤静恵

田中あや乃 塚田結子 露口知子 新田洋子 丸山聡子

一ノ瀬彩・河村藍(人場研) 三輪由紀 モモセヒロコ

山口敦子(松本経済新聞) 山口美緒 [50音順]

AD(ポスター 表紙 ロゴデザイン) 三谷龍二

発行 工芸の五月実行委員会

松本市県1-2-15クラフトステーション内

☎0263-34-6557

e-mail station@matsumoto-crafts.com

URL <http://matsumoto-crafts-month.com/>

印刷 アサカワ印刷

©工芸の五月 2012

ポ  
ケ  
ッ  
ト  
に  
ラ  
ブ  
ア  
ン  
ド  
ピ  
ー  
ス

背丈2.5センチの神様をかたどった小さな落雁、「道祖神」。  
お気に入りのケースにしのばせて出かけます。  
今日会った誰かにしあわせのお裾分けをしよう。



【道祖神】 村里の入口で、外から襲う悪霊を防ぐ、境の神・道の神。男女の寄り添う愛らしい姿から、のちに縁結び・子授け・安産の神として広く信仰され、松本市内だけでも 600 基を超える。



（熊本沙弥郎デザインのパッケージ）  
バウムクーヘン



ピケニケカステラ



ナツツロール



開運堂

本店 松本市中央2-2-15 ☎0263-32-0506 9:00~18:00 毎日営業  
松風庵 松本市開智2-3-30 ☎0263-32-1985 10:00~17:00 火曜定休  
<http://www.kaiundo.co.jp>